

怒涛と雷鳴が同時に襲ってきたようなもの凄い重低音と光の中をクリムトの絵の中から抜け出してきたような黄金のドレスをまとったホイットニー・ヒューストンが彼女特有の超高低音をきかせ、突き抜けるようなポップ・ゴスペルな歌声と共に現れました。雪が降る「さいたまスーパーアリーナ」2万数千人の大観衆を総立ちにさせて、腰をゆすり、体を震わせ、両手をあげて手を叩き大歓声を上げ熱狂するオープニングは、2万4千円のチケット代を吹き飛ばしてくれました。日本人アーティストにはこれだけの迫力と情感哀切を訴えられる黒人霊歌を演ずる人は全くおりませんでした。

経営者とは強くなければ生きてはいけない。しかし情緒、感性がなければ生きる価値もないと思って私も努力をいたしているつもりですが…

この日は少し早めに出発して大宮、東京駅の駅商業施設を見学して参りました。JR東日本の駅ナカ作戦は、昨年5千億円を超えたと思われます。

「エキュート大宮」もテナント70店のうち、80%は飲食店ですが、今年は100億円を大きく上回ると聞いております。

内房線ホームから昇った東京駅B1を右へとスロープを上って行くと「銀の鈴」のフロアに出ます。十年前まではアジア雑貨売場、その後は軽飲食と待合広場となり今はフードコート「グランスタ」に変わり、目標の倍である百億円を超える売上げるフロアになっております。

君津駅北口にも新しい活性化計画が進められております。

是非一度グランスタを見学されて下さい。レイアウト、品揃え、彩り、光艶、味香等購買意欲を猛烈に誘う技と方法は一見の価値があります。

一田舎にて一

君津市内には沢山の養鶏場があります。その副産物として大量の鶏糞が発生しその処理方法①発酵②焼成③牛糞と混発酵させて処理処分されております。

この処分に困って相談を受けてとりあえず3百トン余り処分のお手伝いをいたしました。このために10日間あまり県内を歩いて気付きました事は「農家の合理化」でした。

例えば(イ)ブロイラー養鶏1人1万羽(ロ)肉牛飼育父子2人で凡そ5百頭(ハ)15町歩の畑作を家族3人(ニ)15町歩果実園の管理も家族3人(ホ)苺狩り園管理を園主が1人(採取時期にはパート従業員を雇うので)私の経験では全く考えられない日本の農業の合理化、技術に驚かされました。農産物の直販売所が好評です。全国におよそ1万3500店、まだまだ消費者の希望が多く増加します。

アクアラインは平均3万2千台を超えました。房総の地方産業は観光農業が主流になります。

商店会の役目はロードサイド、駅ナカ、まちナカに農家を始め、各種生産、製造者を会員として、生鮮3品だけでなく君津に産する物、埋もれている品、規格外品、古い農具、手作りの食品、工芸品を委託販売、或いは生産者と消費者を対話させるセルフの仕組みを作って生き残りを考える時であります。残品は生産者持ち帰りですので在庫リスクがないのです。更に趣味、週末農業の仲介案内を商店がされる事が房総地場産業の活性化であります。

旧商店街が新しい幹線道路サイドに出店成功例は新潟から青森まで日本海沿岸道路沿いの各市町村にあります。会議所は個々の商いに主導はできませんが応援は…どんな事でもお手伝いいたします。

不況明けのチャンスを見逃さないでください。ダウン曰く生き残るためには強だけでなく、変化に柔軟に対応できる能力が必要です。